

こんにちは！ MED 村立東海病院



「地域医療連携」をご存じですか

皆さんは「地域医療連携」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。今回はこの「地域医療連携」についてお話ししたいと思います。

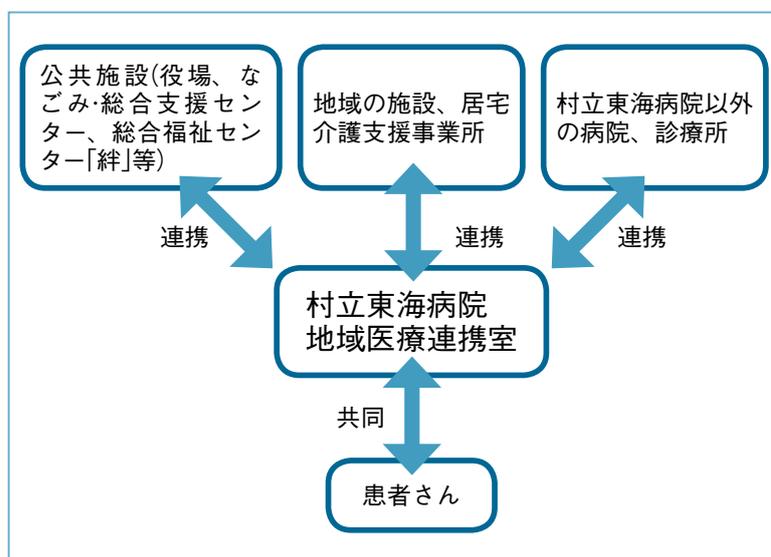
■医療を取り巻く現状

日本は国民皆保険により、自己負担は掛かった医療費の1～3割で済み、受診する病院を自由に選べる仕組みとなっています。しかし、病院の役割分担の不透明さや情報の少なさから、制度としては受診しやすくても、具体的に、どの病院で、どのような医療を受けることができるのかわからないという方が多いのではないのでしょうか。そこで、地域に暮らすさまざまな医療ニーズをもつ患者さんに対応できるように「地域医療連携」という取り組みが重要になってきます。

■「地域医療連携」とは

地域にある診療所やクリニック、当院のような中小規模の病院や大きな総合病院などが、患者情報の共有・連携を行い、患者さんに必要な医療を適切に提供できるようにする仕組みのことです。

村立東海病院には、地域の方々を支援する窓口として地域医療連携室という部署があり、他院への紹介や他院からの紹介の受け付け、さまざまな医療相談、入院患者さんの退院支援等を行っています(右図参照)。その役割を担っているのが医療ソーシャルワーカーです。当院の地域医療連携室には看護師1人と医療ソーシャルワーカー2人が所属しています。



■医療ソーシャルワーカーの役割

医療ソーシャルワーカーは傷病面ではなく、心理・社会的側面に焦点を当て、患者さんやその家族の方がどのようなことで困っているのか理解するところから支援を始めます。単に医療資源の情報を提供するのではなく、患者さんやその家族の方などと十分にお話しし、その人がその人らしく生活できるようになるにはどうすべきかを一緒に考え、お手伝いしていきます。そのため、病院や診療所の他にも、地域の施設や居宅介護支援事業所のケアマネージャーなどと一緒に患者さんとその家族の方を支援していきます。



例えば、どのくらい医療費が掛かるのか心配だ、退院後の生活に不安がある、介護保険の手続きはどのようにすればいいのか、施設入所したいので方法を知りたい、その他どこに相談していいのかわからないというような困りごとがあれば、気軽に地域医療連携室へご相談ください。

村立東海病院医療ソーシャルワーカー 宇都宮 弘治

問い合わせ●村立東海病院(☎282-2188)、保健年金課地域医療担当(☎287-0899)